

案件化調査 インドネシア国 無電化地域における小型バイオマス発電装置による 電化促進案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社プロマテリアル
- 提案企業所在地：東京都港区
- サイト・C/P機関：東ヌサトゥンガラ州シッカ県政府

●●国の開発課題

- インドネシア共和国では電化率が7割弱であり、特に離島部では30%以下の地域も多い。
- 調査対象地の東ヌサトゥンガラ州においては、電化率が低いため、製造業が著しく未発達で、一次製品の付加価値をあげることができていない。
- バイオマス発電は、地方村落における開発ニーズと適合し、活用が期待されている。

中小企業の技術・製品

バイオマスを燃料としたスターリングエンジンによる小型バイオマス発電設備

- 5kW～100 kWまで、出力のカスタマイズが可能
- 地域にある様々なバイオマス資源を燃料として使うことが可能
- シンプルな設計でメンテナンスが容易
- バイオマス発電であるため、CO2の削減に貢献

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 民間提案型普及・実証事業
- 草の根・人間の安全保障無償資金協力
- 技術協力(専門家派遣)、技術研修(研修員受入)

効果：無電化地域の電化、バイオマス発電を活用した産業の創出、現地に適合した技術の普及

日本の中小企業のビジネス展開

無電化地域や、バイオマスが排出される工場等への発電装置の導入

- 再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)を活用した事業への装置販売
- 現地企業と協力した製造、販売を目指す

